

様式 1

沖縄県知事 玉城 康裕 様

(受注者)
住 所

商 号
氏 名

令和 5 年度 県立学校施設定期点検業務報告書

No.10

1 点検対象施設

学 校 名 称	沖縄工業高等学校
点検年月日	令和 5 年 11 月 6 日

2 点検者一覧

番号	氏名	点検資格	登録番号	所属勤務先
1				
2				
3				
4				
5				

注)「資格」は建築基準法第 12 条第 2 項又は第 4 項に規定する点検者の資格を記入する。複数の資格を有する者は当該施設の点検に必要な資格を全て記載すること。

例) 一級建築士、二級建築士、特定建築物調査員、建築設備検査員、防火設備検査員

3 所属勤務先

所属勤務先名	住所	電話番号

注) 2 で記入した点検者の所属勤務先を記入すること。

要是正箇所一覧表（防火設備）

沖縄工業高等学校

点検箇所					指摘の具体的内容
施設名称		棟番号	階	防火設備番号	
1	管理棟・第2管理棟	48	2	FSS-01	危害防止装置の未設置(既存不適格)
			3	FSS-02	危害防止装置の未設置(既存不適格)
2	体育館	56	1	FSS-03	危害防止装置の未設置(既存不適格) 手動閉鎖装置不良・ブレーカー不良（カバーなし）
3	普通教室棟	61	1	FSD-01	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）
			〃	FSD-02	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）
			2	FSD-03	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）
			5	FSD-09	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）・自動閉鎖装置不良
			〃	FSD-10	下部気密ゴム床こすり

注1) 点検の結果、要是正があるもののみ記載すること。

注2) 「施設名称」「棟番号」は、点検箇所一覧表と整合を図ること。

点検箇所写真

学校名	沖縄工業高校
施設名称	管理棟・第2管理棟
棟番号	48

		
FSS-01	FSS-02	点検状況（点検資格者）

	写真	写真
点検状況（防火設備検査員）		

写真	写真	写真

写真	写真	写真

※建築物外観・屋内、主な点検対象設備のある室（廊下）、主な点検対象設備の写真を配置する。
※写真の名称は適宜変更してよい。
※点検資格者が分かる写真を掲載すること。
※点検対象の建物及び建築設備・防火設備の概要が分かる程度でよく、当該様式は各棟1枚でよい。

点検結果表
(防火シャッター)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	管理棟・第2管理棟
棟番号	48

FSSー 1

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外項目	点検結果			担当点検者番号
				指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			2,3
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	○			2,3
(3)			スプロケットの設置の状況※	○			2,3
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	○			2,3
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○			2,3
(6)			スラット及び座板の劣化等の状況	○			2,3
(7)		カーテン部	吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○			2,3
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○			2,3
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○			2,3
(10)		危害防止装置	危害防止装置用運動中継器の配線の状況		○	○	2,3
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況		○	○	2,3
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況		○	○	2,3
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況		○	○	2,3
(14)			作動の状況		○	○	2,3
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			2,3
(16)			感知の状況	○			2,3
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○			2,3
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			2,3
(19)			結線接続の状況	○			2,3
(20)			接地の状況	○			2,3
(21)			予備電源への切り替えの状況	○			2,3
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			2,3
(23)			容量の状況	○			2,3
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			2,3
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況	○			2,3
(26)	総合的な作動の状況		防火シャッターの閉鎖の状況	○			2,3
(27)			防火区画の形成の状況	○			2,3

上記以外の検査項目等

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善予定年月
10~14	危害防止装置	危害防止装置の未設置	危害防止装置の設置	

(注意)

- この書類は、建築物ごとに作成してください。
- 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第二（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第二（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- (14)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(2)）を添付してください。

点検結果表
(防火シャッター)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	管理棟・第2管理棟
棟番号	48

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外項目	点検結果			担当点検者番号
				指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			2,3
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	○			2,3
(3)			スプロケットの設置の状況※	○			2,3
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	○			2,3
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○			2,3
(6)			スラット及び座板の劣化等の状況	○			2,3
(7)		カーテン部	吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○			2,3
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○			2,3
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○			2,3
(10)		危害防止装置	危害防止装置用運動中継器の配線の状況		○	○	2,3
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況		○	○	2,3
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況		○	○	2,3
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況		○	○	2,3
(14)			作動の状況		○	○	2,3
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			2,3
(16)			感知の状況	○			2,3
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○			2,3
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			2,3
(19)			結線接続の状況	○			2,3
(20)			接地の状況	○			2,3
(21)			予備電源への切り替えの状況	○			2,3
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			2,3
(23)			容量の状況	○			2,3
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			2,3
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況	○			2,3
(26)	総合的な作動の状況		防火シャッターの閉鎖の状況	○			2,3
(27)			防火区画の形成の状況	○			2,3

上記以外の検査項目等

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善予定年月
10~14	危害防止装置	危害防止装置の未設置	危害防止装置の設置	

(注意)

- この書類は、建築物ごとに作成してください。
- 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第二（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第二（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- (14)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(2)）を添付してください。

作動の状況(防火シャッター)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	管理棟・第2管理棟
棟番号	48

[illegible]

開口面積 (m ²)	適用閉鎖時間 (秒)
10以下	3.9
10超～20以下	5.5
20超～30以下	6.8
30超～40以下	7.8
40超～50以下	8.7
50超～60以下	9.5
60超～70以下	10.3
70超～80以下	11.0
80超～90以下	11.7
90超～100以下	12.3


※閉鎖時間が適用閉鎖時間以上であれば10J以下を満足する。

※色つきセルは計算式が組まれているため、原則入力不可とします。

閉鎖時間は、座板が床上1,000mmの位置を通過した時点から床面に達するまでの閉鎖時間を計測する。

座板感知部の作動からの停止距離及び再下降の有無は別途検査する。

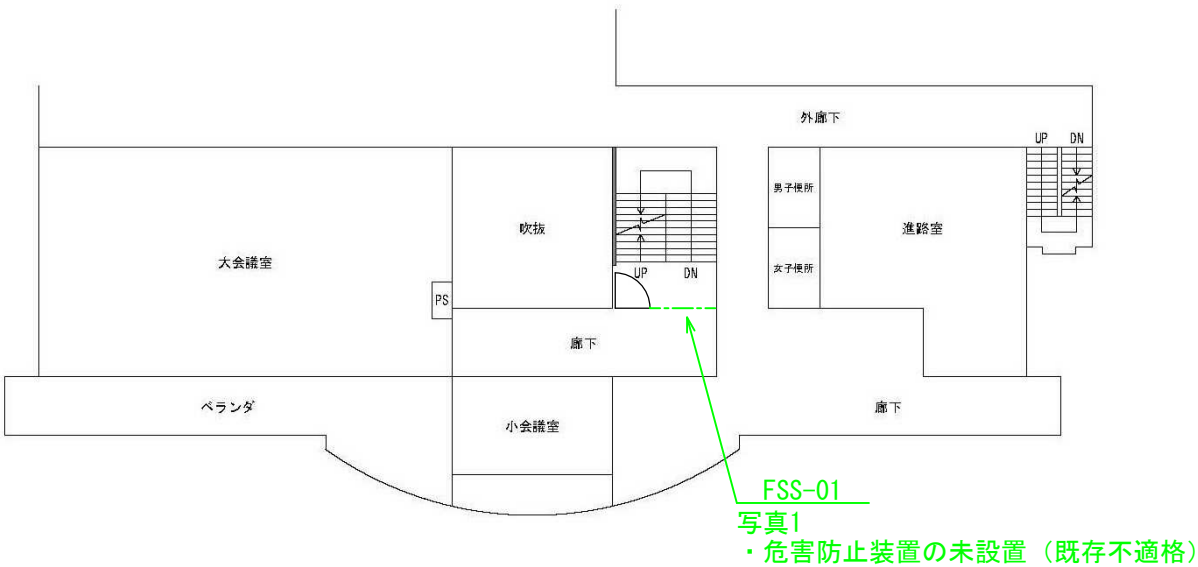
要是正箇所写真

写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
1	様式4-2 10～14	危害防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		<div>場 所：棟番号1 特別教室・高学部棟</div> <div>特記事項</div> <div>FSS-01</div> <div>危害防止装置の未設置(既存不適格)</div>	

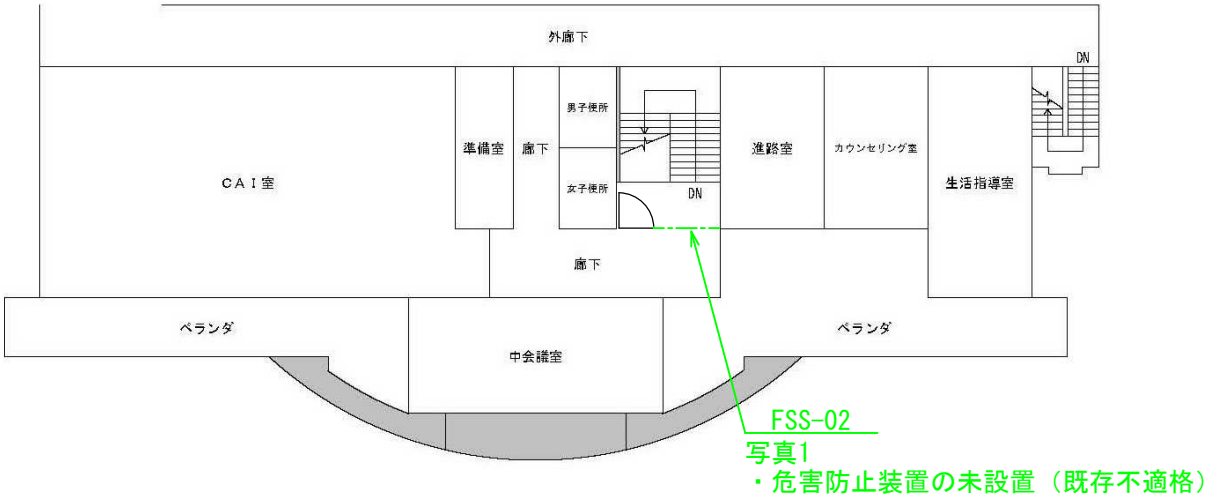
写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
2	様式4-2 10～14	危害防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		<div>場 所：棟番号1 特別教室・高学部棟</div> <div>特記事項</div> <div>FSS-02</div> <div>危害防止装置の未設置(既存不適格)</div>	

- (注意)
- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
 - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - ③ 「写真番号」は、点検結果図に対応したものを記入してください。
 - ④ 「点検番号」、「点検項目」は、それぞれ点検結果表の番号、点検項目に対応したものを記入してください。
 - ⑤ 「点検結果」欄は、点検の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
 - ⑥ 写真は、当該箇所の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。
 - ⑦ 特記事項は、要是正となった理由を具体的に記載してください。

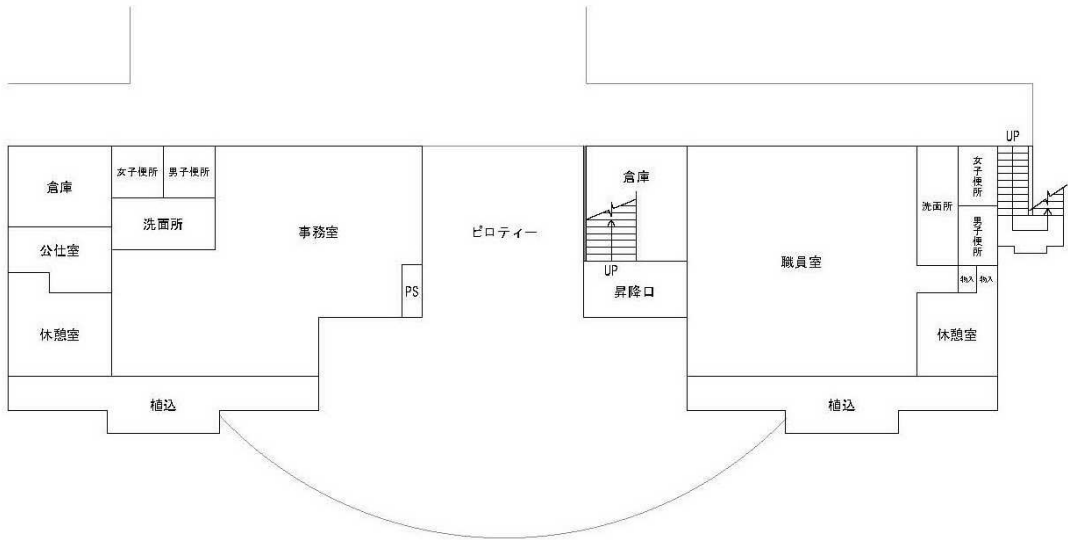
④8 管理棟・第 2 管理棟 2 階



④8 管理棟・第 2 管理棟 3 階



④8 管理棟・第 2 管理棟 1 階



注）各階平面図を添付し、要是正の箇所や点検対象の建築設備の箇所及び撮影した写真の位置等を明記すること。

凡 例	
FSD	防火扉
FSS	防火シャッター
FCS	耐火クロススクリーン

点検箇所写真

学校名	沖縄工業高校
施設名称	体育館
棟番号	56

		
FSS-03	点検状況（点検資格者）	点検状況（防火設備検査員）

写真	写真	写真

写真	写真	写真

写真	写真	写真

※建築物外観・屋内、主な点検対象設備のある室（廊下）、主な点検対象設備の写真を配置する。
※写真の名称は適宜変更してよい。
※点検資格者が分かる写真を掲載すること。
※点検対象の建物及び建築設備・防火設備の概要が分かる程度でよく、当該様式は各棟1枚でよい。

点検結果表
(防火シャッター)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	体育館
棟番号	56

FSSー 3

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外項目	点検結果			担当点検者番号
				指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			2, 3
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	○			2, 3
(3)			スプロケットの設置の状況※	○			2, 3
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	○			2, 3
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(6)			スラット及び座板の劣化等の状況	○			2, 3
(7)		カーテン部	吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○			2, 3
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(10)		危害防止装置	危害防止装置用運動中継器の配線の状況		○	○	2, 3
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況		○	○	2, 3
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況		○	○	2, 3
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況		○	○	2, 3
(14)			作動の状況		○	○	2, 3
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			2, 3
(16)			感知の状況	○			2, 3
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○			2, 3
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			2, 3
(19)			結線接続の状況	○			2, 3
(20)			接地の状況	○			2, 3
(21)			予備電源への切り替えの状況	○			2, 3
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(23)			容量の状況	○			2, 3
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			2, 3
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況		○		2, 3
(26)	総合的な作動の状況		防火シャッターの閉鎖の状況	○			2, 3
(27)			防火区画の形成の状況	○			2, 3

上記以外の検査項目等

28	ブレーカー						2, 3

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善予定年月
10~14	危害防止装置	危害防止装置の未設置	危害防止装置の設置	
25	手動閉鎖装置	手動閉鎖装置不良	手動閉鎖装置の取替	
28	ブレーカー	ブレーカー不良（カバーなし）	ブレーカーの取替	

(注意)

- この書類は、建築物ごとに作成してください。
- 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第二（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第二（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- (14)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(2)）を添付してください。

作動の状況(防火シャッター)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	体育館
棟番号	56

記録年月日： 令和5年11月6日

[illegible]

開口面積 (m ²)	適用閉鎖時間 (秒)
10以下	3.9
10超～20以下	5.5
20超～30以下	6.8
30超～40以下	7.8
40超～50以下	8.7
50超～60以下	9.5
60超～70以下	10.3
70超～80以下	11.0
80超～90以下	11.7
90超～100以下	12.3

※閉鎖時間が適用閉鎖時間以上であれば10J以下を満足する。

※色つきセルは計算式が組まれているため、原則入力不可とします。

閉鎖時間は、座板が床上1,000mmの位置を通過した時点から床面に達するまでの閉鎖時間を計測する。

座板感知部の作動からの停止距離及び再下降の有無は別途検査する。

要是正箇所写真

写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
3	様式4-2 10～14	危害防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		場 所 : 棟番号56 体育館 特記事項 FSS-03 危害防止装置の未設置(既存不適格)	

写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
3	様式4-2 25	手動閉鎖装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		場 所 : 棟番号56 体育館 特記事項 FSS-03 手動閉鎖装置不良	

(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「写真番号」は、点検結果図に対応したものを記入してください。
- ④ 「点検番号」、「点検項目」は、それぞれ点検結果表の番号、点検項目に対応したものを記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、点検の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑥ 写真は、当該箇所の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。
- ⑦ 特記事項は、要是正となった理由を具体的に記載してください。

要是正箇所写真

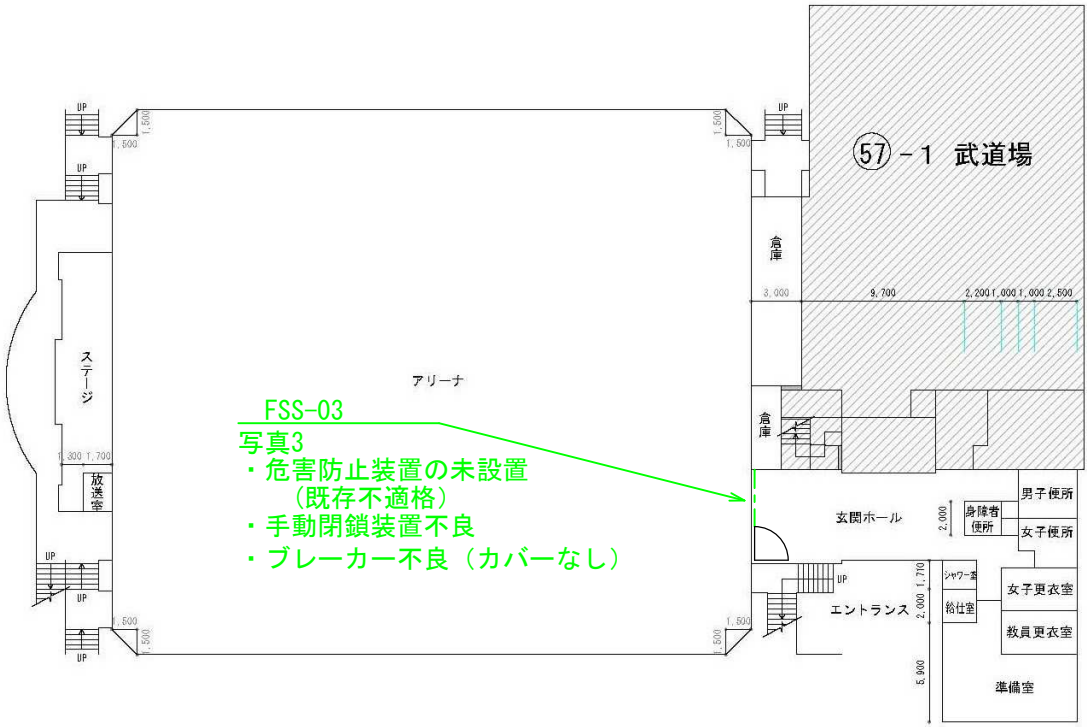
写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
3	様式4-2 28	ブレーカー	<input type="checkbox"/> 要是正 <input checked="" type="checkbox"/> その他
		場 所 : 棟番号56 体育館	
		特記事項	
		FSS-03	
		ブレーカー不良(カバーなし)	

写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
<p style="text-align: center;">写真貼付</p>		場 所 : 棟番号56 体育館	
		特記事項	

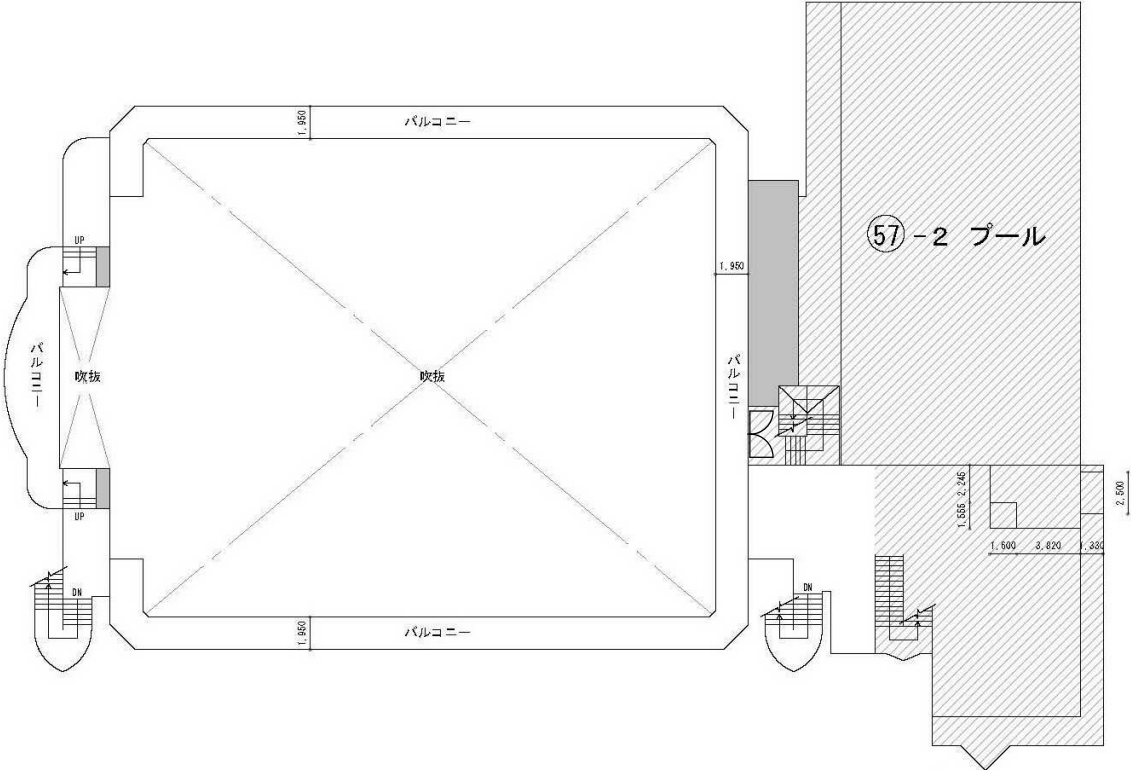
(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「写真番号」は、点検結果図に対応したものを記入してください。
- ④ 「点検番号」、「点検項目」は、それぞれ点検結果表の番号、点検項目に対応したものを記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、点検の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑥ 写真は、当該箇所の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。
- ⑦ 特記事項は、要是正となった理由を具体的に記載してください。

⑤6 体育館 1 階



⑤6 体育館 2 階



⑤6 体育館 地階



注) 各階平面図を添付し、要是正の箇所や点検対象の建築設備の箇所及び撮影した写真の位置等を明記すること。

凡例	
FSD	防火扉
FSS	防火シャッター
FCS	耐火クロススクリーン

様式5

点検箇所写真

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61



※建築物外観・屋内、主な点検対象設備のある室（廊下）、主な点検対象設備の写真を配置する。

※写真の名称は適宜変更してよい。

※点検資格者が分かる写真を掲載すること。

※点検対象の建物及び建築設備・防火設備の概要が分かる程度でよく、当該様式は各棟1枚でよい。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 1

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外 項目	点検結果			担当 点検者 番号
				指摘 なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			2, 3
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			2, 3
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		2, 3
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式	設置位置	○			2, 3
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況	○			2, 3
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○			
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			2, 3
(9)			結線接続の状況	○			2, 3
(10)			接地の状況	○			2, 3
(11)			予備電源への切り替えの状況	○			2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(13)			容量の状況	○			2, 3
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			2, 3
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			2, 3
(16)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			2, 3	
(17)		防火区画の形成の状況	○			2, 3	

上記以外の検査項目等

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善予定年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- ⑭ (4)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 2

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外 項目	点検結果			担当 点検者 番号
				指摘 なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			2, 3
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			2, 3
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		2, 3
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式	設置位置	○			2, 3
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況	○			2, 3
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○			
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			2, 3
(9)			結線接続の状況	○			2, 3
(10)			接地の状況	○			2, 3
(11)			予備電源への切り替えの状況	○			2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(13)			容量の状況	○			2, 3
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			2, 3
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			2, 3
(16)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			2, 3	
(17)		防火区画の形成の状況	○			2, 3	

上記以外の検査項目等

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善予定年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- ⑭ (4)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 3

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外項目	点検結果			担当点検者番号
				指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			2, 3
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			2, 3
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(4)	連動機構	危害防止装置	作動の状況		○		2, 3
(5)		煙感知器、熱煙複合式	設置位置	○			2, 3
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況	○			2, 3
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○			
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			2, 3
(9)			結線接続の状況	○			2, 3
(10)			接地の状況	○			2, 3
(11)			予備電源への切り替えの状況	○			2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(13)			容量の状況	○			2, 3
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			2, 3
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			2, 3
(16)		総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			2, 3
(17)			防火区画の形成の状況	○			2, 3

上記以外の検査項目等

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善予定年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- ⑭ (4)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 4

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外 項目	点検結果			担当 点検者 番号	
				指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況		○			2, 3
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況		○			2, 3
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○			2, 3
(4)		危害防止装置	作動の状況		○			2, 3
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式	設置位置		○			2, 3
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況		○			2, 3
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○				
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況		○			2, 3
(9)			結線接続の状況		○			2, 3
(10)			接地の状況		○			2, 3
(11)			予備電源への切り替えの状況		○			2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況		○			2, 3
(13)			容量の状況		○			2, 3
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況		○			2, 3
(15)			再ロック防止機構の作動の状況		○			2, 3
(16)		総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況		○			2, 3
(17)	防火区画の形成の状況			○			2, 3	
上記以外の検査項目等								
特記事項								
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等					改善予 定年月

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一 (い) 欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一 (い) 欄に掲げる検査事項について同表 (ろ) 欄に掲げる検査事項のいずれかが同表 (に) 欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- ⑭ (4)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 5

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外 項目	点検結果			担当 点検者 番号	
				指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況		○			2, 3
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況		○			2, 3
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○			2, 3
(4)	連動機構	危害防止装置	作動の状況		○			2, 3
(5)		煙感知器、熱煙複合式	設置位置		○			2, 3
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況		○			2, 3
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○				
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況		○			2, 3
(9)			結線接続の状況		○			2, 3
(10)			接地の状況		○			2, 3
(11)			予備電源への切り替えの状況		○			2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況		○			2, 3
(13)			容量の状況		○			2, 3
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況		○			2, 3
(15)			再ロック防止機構の作動の状況		○			2, 3
(16)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況		○			2, 3	
(17)		防火区画の形成の状況		○			2, 3	
上記以外の検査項目等								
特記事項								
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等					改善予 定年月

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一 (い) 欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一 (い) 欄に掲げる検査事項について同表 (ろ) 欄に掲げる検査事項のいずれかが同表 (に) 欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- ⑭ (4)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 6

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外 項目	点検結果			担当 点検者 番号
				指摘 なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			2, 3
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			2, 3
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(4)			危害防止装置	作動の状況	○		
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式	設置位置	○			2, 3
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況	○			2, 3
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○			
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			2, 3
(9)			結線接続の状況	○			2, 3
(10)			接地の状況	○			2, 3
(11)			予備電源への切り替えの状況	○			2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			2, 3
(13)			容量の状況	○			2, 3
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			2, 3
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			2, 3
(16)		総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			2, 3
(17)	防火区画の形成の状況		○			2, 3	

上記以外の検査項目等

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善予定年月

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- ⑭ （4）「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 7

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外 項目	点検結果			担当 点検者 番号	
				指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況		○			2, 3
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況		○			2, 3
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○			2, 3
(4)	連動機構	危害防止装置	作動の状況		○			2, 3
(5)		煙感知器、熱煙複合式	設置位置		○			2, 3
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況		○			2, 3
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○				
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況		○			2, 3
(9)			結線接続の状況		○			2, 3
(10)			接地の状況		○			2, 3
(11)			予備電源への切り替えの状況		○			2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況		○			2, 3
(13)			容量の状況		○			2, 3
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況		○			2, 3
(15)			再ロック防止機構の作動の状況		○			2, 3
(16)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況		○			2, 3	
(17)		防火区画の形成の状況		○			2, 3	
上記以外の検査項目等								
特記事項								
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等					改善予 定年月

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- ⑭ (4)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 8

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外 項目	点検結果			担当 点検者 番号	
				指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況		○			2, 3
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況		○			2, 3
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○			2, 3
(4)	連動機構	危害防止装置	作動の状況		○			2, 3
(5)		煙感知器、熱煙複合式	設置位置		○			2, 3
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況		○			2, 3
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○				
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況		○			2, 3
(9)				結線接続の状況		○		2, 3
(10)				接地の状況		○		2, 3
(11)				予備電源への切り替えの状況		○		2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況		○			2, 3
(13)			容量の状況		○			2, 3
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況		○			2, 3
(15)			再ロック防止機構の作動の状況		○			2, 3
(16)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況		○			2, 3	
(17)		防火区画の形成の状況		○			2, 3	
上記以外の検査項目等								
特記事項								
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等					改善予 定年月

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一 (い) 欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一 (い) 欄に掲げる検査事項について同表 (ろ) 欄に掲げる検査事項のいずれかが同表 (に) 欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- ⑭ (4)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 9

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外 項目	点検結果			担当 点検者 番号	
				指摘 なし	要是正	既 存 不適格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況		○		2, 3	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況		○		2, 3	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○		2, 3	
(4)			危害防止装置	作動の状況			○	2, 3
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式	設置位置		○		2, 3	
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況		○		2, 3	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○				
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況		○		2, 3	
(9)			連動制御器	結線接続の状況		○		2, 3
(10)				接地の状況		○		2, 3
(11)				予備電源への切り替えの状況		○		2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況		○		2, 3	
(13)			容量の状況		○		2, 3	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況			○	2, 3	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況		○		2, 3	
(16)		総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況		○		2, 3	
(17)	防火区画の形成の状況			○		2, 3		

上記以外の検査項目等

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善予定年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	
14	自動閉鎖装置	自動閉鎖装置不良	自動閉鎖装置の取替	

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
- ⑭ (4)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

点検結果表
(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

FSD- 10

当該点検に関与した点検者		氏 名	点検者番号
	代表となる点検者		
	その他の点検者		

番号	検 査 項 目	検査事項	対象外 項目	点検結果			担当 点検者 番号	
				指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況		○			2, 3
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況		○			2, 3
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況			○		2, 3
(4)		危害防止装置	作動の状況		○			2, 3
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式	設置位置		○			2, 3
(6)		感知器及び熱感知器	感知の状況		○			2, 3
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	○				
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況		○			2, 3
(9)			結線接続の状況		○			2, 3
(10)			接地の状況		○			2, 3
(11)			予備電源への切り替えの状況		○			2, 3
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況		○			2, 3
(13)			容量の状況		○			2, 3
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況		○			2, 3
(15)			再ロック防止機構の作動の状況		○			2, 3
(16)		総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況		○			2, 3
(17)	防火区画の形成の状況			○			2, 3	
上記以外の検査項目等								
特記事項								
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等					改善予 定年月
3	扉、枠及び金物	下部気密ゴム床こすり	気密ゴムの切り取り調整等					

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
 - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - ③ 「当該点検に関与した点検者」欄は、様式1に記入した点検者について記入し、「点検者番号」欄に点検者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、その他の点検者欄は空欄としてください。
 - ④ 該当しない調査項目がある場合は、「対象外項目」欄に○印を記入してください。
 - ⑤ 「点検結果」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
 - ⑥ 「点検結果」欄のうち「要是正」欄は、平成28年国土交通省告示第723号別表第一（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
 - ⑦ 「点検結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
 - ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
 - ⑨ 「担当点検者番号」欄は、「当該点検に関与した点検者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った点検者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
 - ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、④から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
 - ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
 - ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は他の防火設備と合わせて記載して構いません。
 - ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。
 - ⑭ (4)「危害防止装置」の作動の状況については、数値記録表（様式4-5(1)）を添付してください。

様式4-5(1) 数値記録表

作動の状況(防火扉)

学校名	沖縄工業高校
施設名称	普通教室棟
棟番号	61

記録年月日：令和5年11月6日

階	防火設備 番号	測定値					運動エネルギー(J:ジュール)			閉鎖力(N:ニュートン)			既存 不適格	要是正の 原因又は改修案
		幅 (m)	高さ (m)	重量 (kg)	開角 (°)	閉鎖 時間 (秒)	算定値 (J)	基準値 (J)	要是正	測定値 (N)	基準値 (N)	要是正		
1	FSD-01(左)	1.67	2.00	133.6	90	5.8	13.7	10	○	19.2	150			ドアクローザーの取付(補助装置)
1	FSD-01潜戸	0.82	1.82	59.7	90	3.8	3.5	10		14	150			
1	FSD-02(右)	1.67	2.00	133.6	90	6.4	11.3	10	○	18.1	150			ドアクローザーの取付(補助装置)
1	FSD-02潜戸	0.82	1.82	59.7	90	2.3	9.4	10		11.3	150			
2	FSD-03(左)	1.48	2.00	118.4	90	5.2	11.9	10	○	13.4	150			ドアクローザーの取付(補助装置)
2	FSD-04(右)	1.48	2.00	118.4	90	9.3	3.7	10		33.2	150			
3	FSD-05(左)	1.48	2.00	118.4	90	5.8	9.6	10		15.2	150			
3	FSD-06(右)	1.48	2.00	118.4	90	10.4	3	10		32.7	150			
4	FSD-07(左)	1.48	2.00	118.4	90	7.0	6.6	10		13.3	150			
4	FSD-08(右)	1.48	2.00	118.4	90	6.5	7.6	10		15.9	150			
5	FSD-09(左)	1.48	2.00	118.4	90	5.0	12.8	10	○	13.7	150			ドアクローザーの取付(補助装置)
5	FSD-10(右)	1.48	2.00	118.4	90	6.0	8.9	10		14.3	150			

※色つきセルは計算式が組まれているため、原則入力不可とします。

扉重量は40kg/m²で計算(防火設備定期点検検査業務基準 P82)

要是正箇所写真


写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
4	様式4-1 4	危害防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		場 所 : 棟番号61 普通教室棟	
		特記事項	
		FSD-01	
		運動エネルギーが10Jを超える(親扉)	


写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
5	様式4-1 4	危害防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		場 所 : 棟番号61 普通教室棟	
		特記事項	
		FSD-02	
		運動エネルギーが10Jを超える(親扉)	

(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「写真番号」は、点検結果図に対応したものを記入してください。
- ④ 「点検番号」、「点検項目」は、それぞれ点検結果表の番号、点検項目に対応したものを記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、点検の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑥ 写真は、当該箇所の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。
- ⑦ 特記事項は、要是正となった理由を具体的に記載してください。

要是正箇所写真

写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
6	様式4-1 4	危害防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		場 所 : 棟番号61 普通教室棟 特記事項 FSD-03 運動エネルギーが10Jを超える(親扉)	

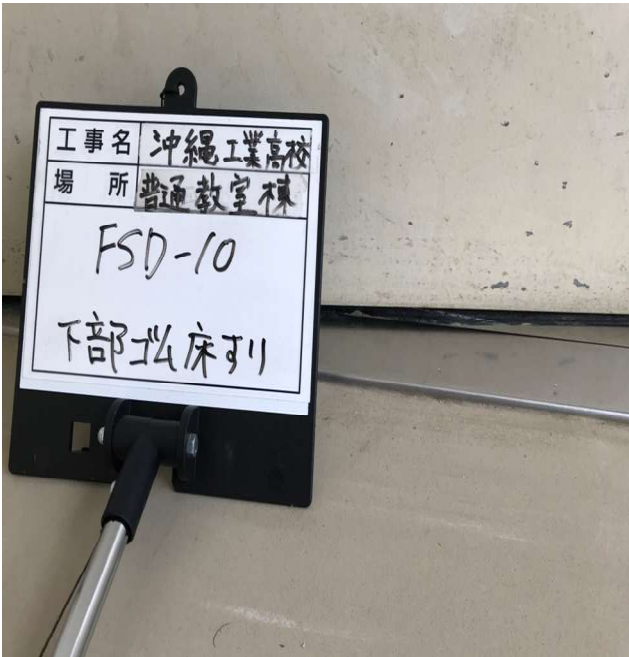
写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
7	様式4-1 4	危害防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		場 所 : 棟番号61 普通教室棟 特記事項 FSD-09 運動エネルギーが10Jを超える(親扉)	

(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「写真番号」は、点検結果図に対応したものを記入してください。
- ④ 「点検番号」、「点検項目」は、それぞれ点検結果表の番号、点検項目に対応したものを記入してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は、点検の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑥ 写真は、当該箇所の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。
- ⑦ 特記事項は、要是正となった理由を具体的に記載してください。

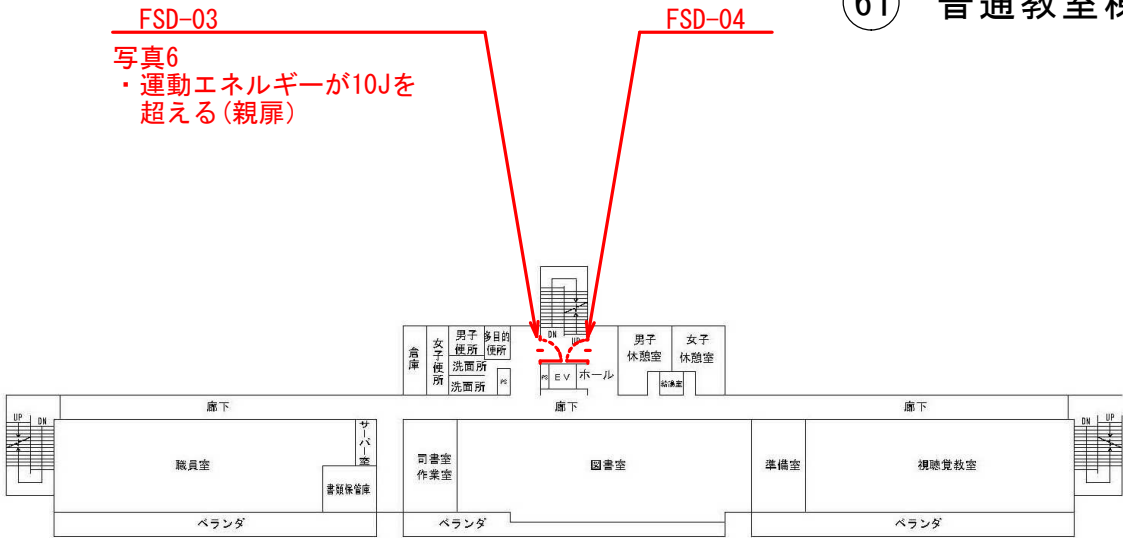
要是正箇所写真

写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
7	様式4-1 14	自動閉鎖装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		<div>場 所 : 棟番号61 普通教室棟</div> <div>特記事項</div> <div>FSD-09</div> <div>自動閉鎖装置不良</div>	

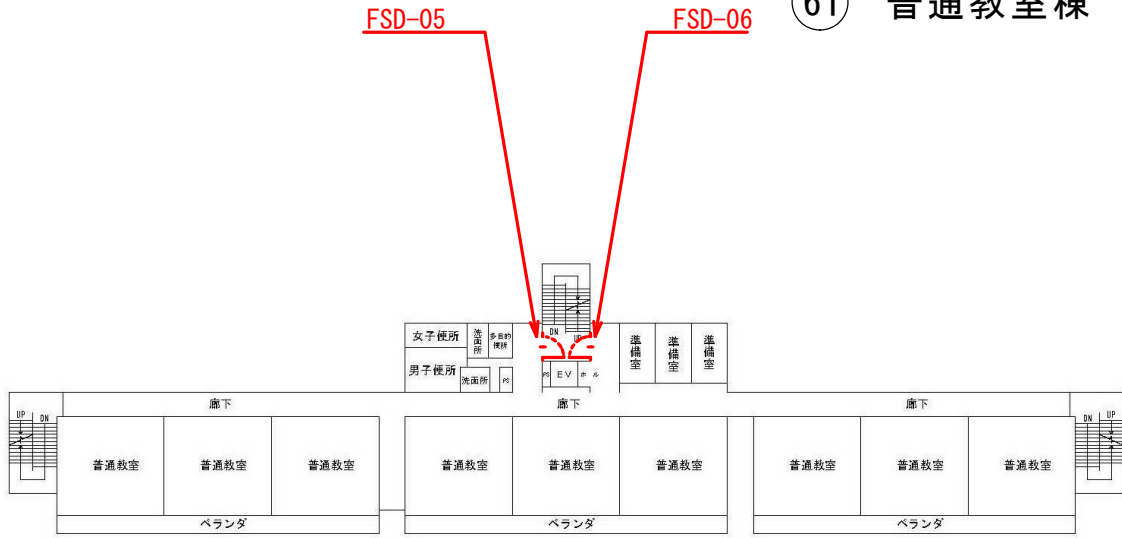
写真番号	点検番号	点検項目	点検結果
8	様式4-1 3	危害防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
		<div>場 所 : 棟番号61 普通教室棟</div> <div>特記事項</div> <div>FSD-10</div> <div>下部気密ゴム床こすり</div>	

- (注意)
- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
 - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - ③ 「写真番号」は、点検結果図に対応したものを記入してください。
 - ④ 「点検番号」、「点検項目」は、それぞれ点検結果表の番号、点検項目に対応したものを記入してください。
 - ⑤ 「点検結果」欄は、点検の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
 - ⑥ 写真は、当該箇所の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。
 - ⑦ 特記事項は、要是正となった理由を具体的に記載してください。

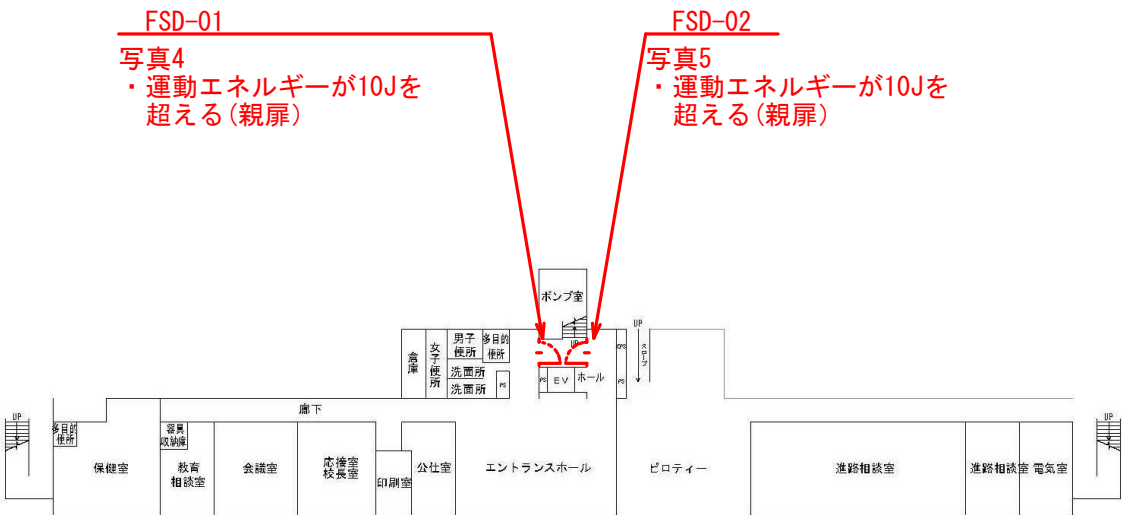
⑥1 普通教室棟 2 階



⑥1 普通教室棟 3 階



⑥1 普通教室棟 1 階

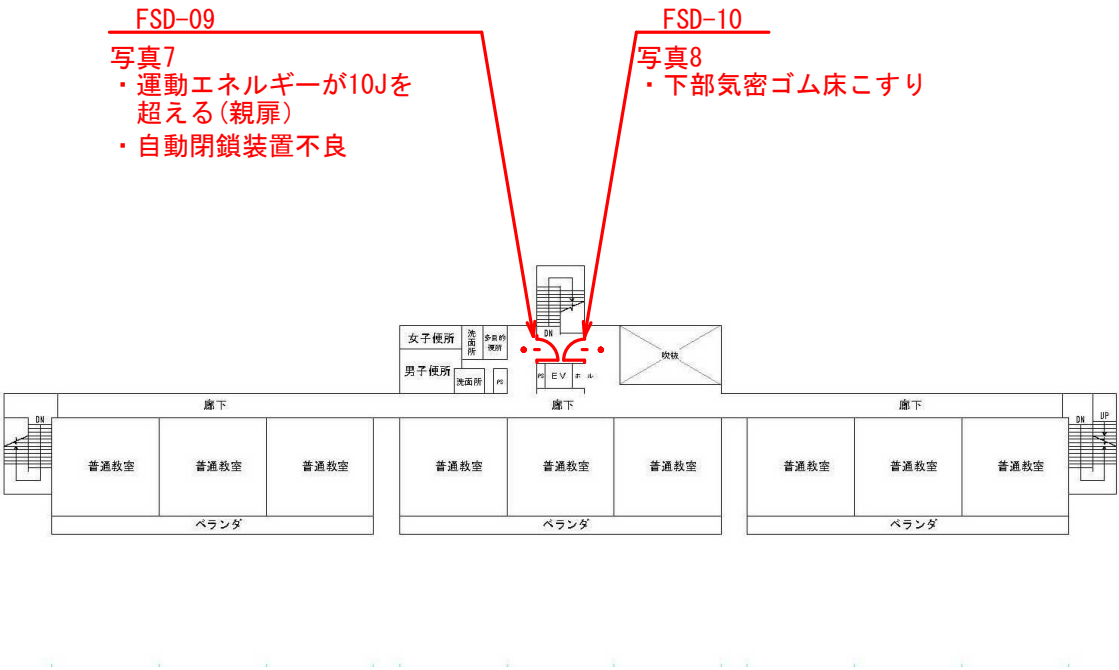


凡例

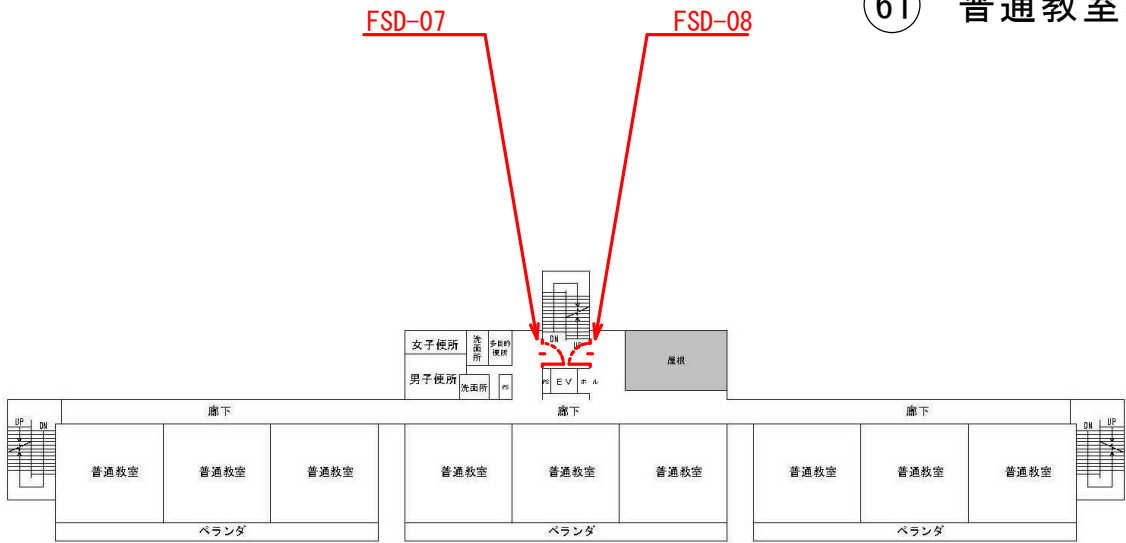
FSD	: 防火扉
FSS	: 防火シャッター
FCS	: 耐火クロススクリーン

注) 各階平面図を添付し、要是正の箇所や点検対象の建築設備の箇所及び撮影した写真の位置等を明記すること。

61 普通教室棟 5 階



61 普通教室棟 4 階



注) 各階平面図を添付し、要是正の箇所や点検対象の建築設備の箇所及び撮影した写真の位置等を明記すること。

凡 例

FSD	: 防火扉
FSS	: 防火シャッター
FCS	: 耐火クロススクリーン